

学校法人 兵庫医科大学

広報



兵庫医科大学



兵庫医療大学

2017年7月号
vol. 239

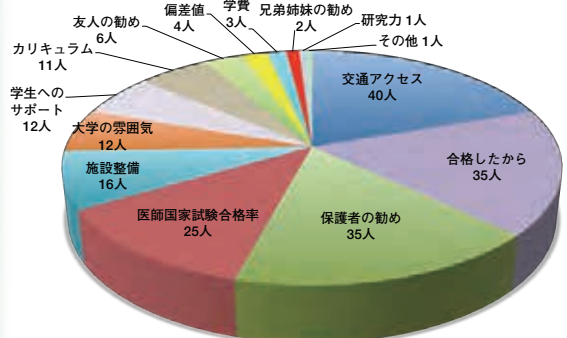
特集

アンケートで分かった! 新入生の姿
多彩な新入生サポート体制

特集

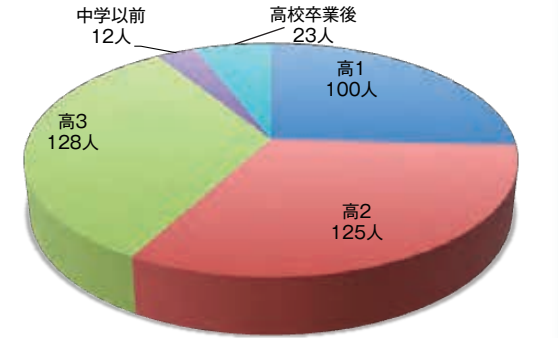
アンケートで分かった！ 兵庫医科大学の新入生の姿

兵庫医科大学に入学を決めた理由は？



交通アクセスを重視するのは、学習時間を少しでも増やしたいから？「保護者の勧め」も例年どおり多くなっています。

兵庫医療大学を知ったのはいつ？



高1～高3の時期に比較的均一に、知っていただいているようです。なかには、中学以前から知っていた人も！

今春、兵庫医科大学に112人、兵庫医療大学に396人の新入生が入学し、学校法人兵庫医科大学の新たな仲間となりました。

この特集では、両大学の新入生に行ったアンケート・調査の結果をもとに、今年の新入生の情報についてお伝えいたします。

新入生アンケート 兵庫医科大学 (回答者数108／112人 複数回答あり)

● 兵庫医科大学を知ったきっかけは？

保護者の勧め	予備校の勧め	大学案内	受験雑誌	入試相談会説明会	オープンキャンパス	ホームページ	友人・先輩の勧め	高校の勧め	兄弟・姉妹の勧め	駅広告	その他
37	35	21	15	14	12	8	8	3	1	1	1

今年も保護者や予備校など、人伝いに知った人が大半です。

● 全部で何校受験しましたか？

5校以上	4校	3校	2校	1校	無回答
60	14	12	4	1	17

5校以上受験した人が昨年より微増。

● 本学以外に出願した大学はどこですか？

【国立】 三重大学、福井大学、愛媛大学、高知大学、山口大学、神戸大学、徳島大学、宮崎大学 など
 【公立】 奈良県立医科大学、大阪市立大学 など
 【私立】 大阪医科大学、関西医科大学、愛知医科大学、近畿大学、獨協大学、福岡大学 など

● 合格した大学はどこですか？

【国立】 北海道大学 工学部、東北大学 歯学部、大阪大学 工学部、神戸大学 農学部、富山大学 薬学部 など
 【私立】 愛知医科大学、藤田保健衛生大学、川崎医科大学、金沢医科大学、近畿大学 医学部、獨協医科大学、帝京大学 医学部、北里大学 医学部、大阪医科大学、関西医科大学 など

● 新入生のことが分かる！(「入学時調査」の結果より)

☆兵庫医科大学への入学に満足している
 YES 95% NO 5%

ほとんどの学生が満足！

☆大学で良い成績を取ることは重要だ
 YES 99% NO 1%

☆医学の研究者になりたい
 YES 45% NO 55%

半数の学生が研究者も視野に

☆病院での実習が楽しみた
 YES 92% NO 8%

☆将来どんな医師を目指す？
 臨床医 75% 研究者 10% 大学教員 2% 未定 13%

☆ボランティア活動がしたい
 YES 78% NO 22%

☆海外留学がしたい
 YES 65% NO 35%

☆今、気になっていること
 大学の授業についていけるか 73%
 授業の学習方法(予習・復習) 49%
 医師国家試験に合格できるか 44%
 対人関係 29%
 経済的な問題(金銭問題) 17%

※「思う」「やや思う」と答えた人を(YES)、「思わない」「やや思わない」と答えた人を(NO)にカウント

ただし、「英語の能力がある」にYESと答えた学生は35%でした。

新入生アンケート 兵庫医療大学 (回答者数388／396人 複数回答あり)

● 兵庫医療大学を知ったきっかけは？

高校・塾の先生	進学WEB	家族	友人・先輩	進学雑誌	相談会	看板広告	その他
135	119	117	69	65	37	8	1

人伝いである先生・家族・友人・先輩を合わせると、なんと321人に！現代らしく、WEBからの情報収集が2番目に多くなっています。

● 兵庫医療大学の受験を決めた時に、影響を受けた情報は？

大学案内	大学WEB	オープンキャンパス	高校・塾の先生	家族	友人・先輩	進学WEB	大学からのDM	オープンキャンパス以外のイベント	進学雑誌	進学相談会	その他
170	140	136	110	84	47	32	24	19	17	14	6

● 第一志望の大学はどこでしたか？

【薬学部】 神戸薬科大学、神戸学院大学、近畿大学、摂南大学、大阪薬科大学、兵庫医療大学 など
 【看護学部】 兵庫県立大学、神戸市看護大学、大阪市立大学、兵庫医療大学 など
 【リハビリテーション学部】 神戸学院大学、大阪府立大学、神戸大学、県立広島大学、兵庫医療大学 など

● 合格した大学はどこですか？

【薬学部】 神戸学院大学、甲南大学、摂南大学、武庫川女子大学、近畿大学、姫路獨協大学、大阪大谷大学 など
 【看護学部】 神戸市看護大学、高知県立大学、神戸女子大学、武庫川女子大学、同志社女子大学、摂南大学、愛知医科大学、森ノ宮医療大学 など
 【リハビリテーション学部】 神戸学院大学、甲南女子大学、京都橘大学、大和大学、広島国際大学、吉備国際大学 など

● 兵庫医療大学を受験しようと思った理由は？(自由記述)

・チーム医療が学べるから……91人 ・法人内に病院があるから……35人 ・自宅から通えるから……32人
 ・環境が良いから……20人 ・施設がきれいだから……20人 ・偏差値に合っていたから……20人

● 現在、下宿をしていますか？

いいえ (自宅通学)	はい
326	60

自由記述にも関わらず“チーム医療を学べるから”と書いた人が91人も！同一法人内に大学病院があることに魅力を感じる人も多いですね。

兵庫医科大学・兵庫医療大学は 多彩なサポート体制で 新入生をバックアップしています。

サポート①

学内・学外オリエンテーション

新入生は、入学式後から数日間、大学内にてオリエンテーションを受けます。大学生としての日々の過ごし方や注意点などについて説明を聞いたり、学習に関するアドバイスを受けたりすることで、大学生活の素地を養います。

また、兵庫医科大学では、1泊2日の学外オリエンテーションを実施しています。自分史年表を作るグループワ



わいわい話しながらグループワーク(兵庫医科大学)



皆で楽しくバーベキュー(兵庫医科大学)

ークやバーベキューなど、同級生同士で仲良くなれる懇親企画や、教員と親睦を深めるプログラムが準備されているため、大学生活に不安を抱いていた新入生から、「この合宿に参加して友達ができたので、不安がなくなりました」という声が聞かれます。

サポート②

新入生歓迎会・クラブ活動紹介

在学生の新入生歓迎実行委員が中心となり、新入生を歓迎するイベントを行います。

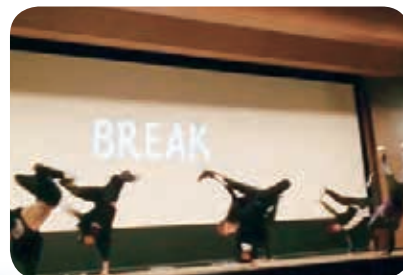
特に、兵庫医科大学・兵庫医療大学は、全学生における部活・サークルへの参加率が高いと言われているため、新入生に対して各部活・サークルなどのPRを行う日を設け、課外活動への積極的な参加を呼びかけています。



平成29年度 兵庫医科大学 新入生歓迎実行委員です!



ホテルで新入生懇談昼食会(兵庫医科大学)



ステージにて部活PR!(兵庫医科大学)



新入生の目の前で演奏♪(兵庫医療大学)



新入生アンケートにみられた声!!
(兵庫医科大学)

大学でコミュニケーション能力を身に付けたい。

トップの成績を取りたい。

一人暮らしが心配です。

部活動と勉強の両立が少し不安。

研究医コースに非常に惹かれている。

医学教育センターの「ピアサポート」がどれくらい支援してくれるのか気になる。

サポート③

アドバイザー制度

少人数制のクラスを編成し、クラスごとにアドバイザーが新入生をサポートする制度です。

< 兵庫医科大学のアドバイザークラス制度 >

教員がアドバイザーとなり、新入生をフォローします。この制度は、アドバイザー教員が担当学生の保護者と入学式直後に顔合わせをすることからスタート。同日に、懇談昼食会でお互いに自己紹介し、その後に教員が大学の施設を案内します。

また、4月中旬に行う学外オリエンテーションにて、このクラス単位でグループワークやバーベキューを行い親交を深め、教員との個別面談、2回目の懇談昼食会や、学生の希望や必要に応じて交流会を実施するなど、アドバイザー教員は、勉学や学生生活を支援する相談役として、日々サポートします。



先輩による大学案内(兵庫医療大学)

< 兵庫医療大学のアドバイザーグループ制度 >

2年次の先輩学生がアドバイザーとなって、同年代の目線から新入生をサポートします。1グループあたり先輩アドバイザーが2名付く、3学部混成グループです。

はじめに、大学のレストランにて昼食懇談会を開催。グループごとに自己紹介、大学の施設案内を実施するほか、履修科目の選択相談や学生生活で不安な点など、アドバイザーが新入生の相談に答えます。その後はクラス内で連絡先を交換し、各々のタイミングでお互いに連絡を取り合うほか、大学の外でも懇談会を企画するなど、学部の壁を越えて学生同士和気あいあいと交流できる制度です。



アドバイザーグループで初ランチ☆(兵庫医療大学)

◆兵庫医療大学 アドバイザーグループ〈先輩の声〉と〈新入生の感想〉はP5へ⇒

アドバイザーグループ

<先輩アドバイザーの声>

兵庫医療大学
リハビリテーション学部 理学療法学科 2年次
北野 遼 さん

兵庫医療大学のアドバイザーグループは、学部混成で新生が10人前後と、アドバイザーの2年次生2人を1グループとして構成しています。

新生が大学生活にスムーズに馴染むよう、4月の入学後早々にアドバイザーグループの全員で集まりました。その日は、自己紹介をして一緒に昼食を食べ、履修科目選択や大学生活に関する相談に乗ったほか、各校舎を回ってどこにどのような施設があるのか案内しました。

また、先日は大学ではなく、街中(三宮)のバイ

キングレストランでご飯を食べ、楽しい時間を過ごしました。

私は友人に誘われてアドバイザーになりましたが、普段他学部の後輩と接する機会がありませんので、気軽に話せる後輩ができてうれしいですね。

学年が上がるにつれて専門的な学習が増えて勉強に忙しくなるため、1年次のみなさんには、比較的時間に余裕がある今のうちに、さまざまなことにチャレンジしてほしいです。



<新生の感想>

- 先輩に施設案内をしてもらったので、教室の場所などがわかりやすかった！
- 大学での不安なことや悩みを聞いてくださいました！
- アドバイザークラスで他学部生と仲良くなれました。
- 先輩に大学のことをいっぱい教えてもらいました。
- みんなでご飯を食べに行けて楽しかったです。
- 友人が増えてよかったです。



笑い声が絶えない！グループ12の皆さん

他にもこんな
制度があります！

ピアサポート制度(兵庫医科大学)

ピア(peer)とは、英語で“仲間”の意です。ピア・サポーターは、同じ環境など似た立場の人が、対等な関係性の中で仲間を支え合う制度です。

学生生活を送るうえで発生する問題・悩みなどに、ピア・サポーター認定を受けた先輩学生が答えます。相談は任意で、自主的にピアに名乗りをあげた先輩学生がカウンセリングしながら、課題を解決したり、アドバイスしたりします。

〔場所〕

ピア・サポート・ルーム

〔開室時間〕

月曜～金曜 11:40～12:40／15:30～18:00 (長期休暇中は休室)

〔相談形式〕

- ①相談無料、秘密厳守
- ②予約不要、開室中随時受付
- ③必要に応じて学内の専門相談機関を紹介



学校法人 兵庫医科大学

広報

vol.239/2017年7月号

建学の精神

社会の福祉への奉仕
人間への深い愛
人間への幅の広い科学的理解

INDEX - 目次 -

特集

アンケートで分かった！新生の姿
兵庫医科大学・兵庫医療大学の多彩な新生サポート体制

I Campus News

- ・JST「さくらサイエンスプラン」に採択されました
- ・「臨床研究フィールドフェア」を初開催
- ・「学校法人兵庫医科大学連携病院の会 合同病院説明会」を実施
- ・「兵医・萌えの会 会員ラウンジ」を開設
- ・検査中に「映像」と「音楽」が視聴できるMRI装置を導入しました
- ・新規低分子化合物ががん増殖に係るタンパク質を分解・除去するメカニズムを解明
- ・雲南省に「日中生物資源共同研究開発センター」を開設
- ・丹波市山南町より橋を寄贈いただきました
- ・看護部主催で“パネル展示”と“健康促進イベント”を実施
- ・薬学部と病院薬剤部による高校生対象イベントを開催
- ・看護職への理解を深める進学イベントを実施
- ・「第5回学術シンポジウム・兵庫医療大学薬学部東洋医薬部門 第2回国際シンポジウム」を開催
- ・「後援会総会」「医学教育等説明会・懇談会」を実施しました
- ・兵庫医療大学開学10周年記念プロジェクト、着々と進行中
- ・「新病院棟建設プロジェクト」基本構想の策定開始！
- ・第3 次中期事業計画の策定スタート

I 各種報告

平成28年度決算について

I 卒業生の今

モンゴルでの経験が理学療法士としての自信に
上原 つかさ さん(兵庫医科大学 平成23年3月卒業)

I The Professional ザ・プロフェッショナル

地域の未来を見つめる医師 ～篠山地域の産科医療を支え続けて～
ささやま医療センター 副院長／産婦人科診療部長／教授 池田 義和

I 課外活動紹介

兵庫医科大学「水族館帯同ボランティアを実施しました」
兵庫医療大学「学生主催の『スポーツ大会』を開催」

I 表彰および受賞紹介

I 平成29年度科学研究費助成事業交付内定一覧ほか

I 評議員の異動

I チームの力

職種を超えたチームで知恵を出し合い、ムダ・ムラを削減！
ささやま医療センター「エコワーキンググループ」

I 知ってる？ 健康医学クリニック

受診者への思いやりが隠された“アート”とは

I 兵医・萌えの会 状況報告／ 教育研究棟建設事業募金 状況報告

I 主な行事予定(8～10月)



～アジアの優秀な留学生を招いて学術交流～ JST「さくらサイエンスプラン」に採択されました

平成29年4月10日、学校法人兵庫医科大学は、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の「日本・アジア青少年サイエンス交流事業(通称：さくらサイエンスプラン)」に初めて応募し、採択されました。

この「さくらサイエンスプラン」は、産官学の緊密な連携により、優秀なアジアの青少年が日本を訪れ、日本の青少年と科学技術の分野で交流を深めることを目指し行われている助成金事業です。

学校法人兵庫医科大学では「現代医学と伝統医学を融合させた未来型医療モデルの構築を目指した学術交流」をテーマに、平成29年8月20日から26日までの1週間、中国で伝統医学を専攻する大学生・大学院生、計10名を受け入れます。日本の最先端の医学・医療を知って、医療現場を体感してもらうため、留学生は兵庫医科大学・兵庫医科大学病院(西宮市)、兵庫医科大学(神戸市)、兵庫医科大学ささやま医療センター(篠山市)などを訪れ、医学・薬学・看護学・リハビリテーション学分野について学び、両大学の学生と交流を図る予定です。



「学校法人兵庫医科大学連携病院の会 合同病院説明会」を実施

平成29年4月22日、兵庫医科大学体育館において、各学部最終学年を主な対象に「学校法人兵庫医科大学連携病院の会 合同病院説明会」を実施しました。

当日は最終学年239人をはじめ、それ以外の学年177人を加えた合計416人が参加。スーツ姿に身を包んだ学生たちは、47法人53病院の中から希望するブースを回り、各病院の基本情報や特色・理念、教育システムなどについて担当者から熱心に話を聞きました。

終了後に行ったアンケートでは、一人当たり平均3ブースを訪問し、9割を超える学生が「参加して参考になった」と回答。本格的な就職活動を間近に控えた最終学年にとっては進路を考える機会になったことはもちろんのこと、就職活動はまだ少し先の下級生にとっても貴重なキャリア形成の場となりました。



「兵医・萌えの会 会員ラウンジ」を開設

兵庫医科大学及び兵庫医科大学の教育・研究環境の整備や奨学金等の支援を行うことを目的として、本法人に基金を創設し、継続的な募金活動を行っています。この基金の活動を支援する組織として、平成21年4月に「兵医・萌えの会」を設置し、これまで多くの方々(会員)からご寄付を頂戴してきました。

平成29年4月24日、会員様への感謝の意を込め、診療の待ち時間等にご利用いただける場所として、「兵医・萌えの会 会員ラウンジ」を兵庫医科大学病院 1号館1階に開設しました。

「兵医・萌えの会」会員の方は、当院へお越しいただいた際に、ぜひご利用ください。

(※会員以外の方はご利用をご遠慮願います。)



開室日	平日、第1・第3土曜日、敬老の日、成人の日
ご利用時間	午前7時～午後8時
閉室日	日曜、祝日(敬老の日、成人の日を除く)、第2・第4・第5土曜日、年末年始



検査中に「映像」と「音楽」が視聴できるMRI装置を導入しました

兵庫医科大学病院では、平成29年3月より、映像と音楽を視聴しながら検査が受けられる最新鋭のMRI装置を導入しました。映像については、専用の鏡に映し出された映像をご覧いただく仕組みです。これにより、閉所が苦手な患者さんにも安心して検査を受けていただけるようになりました。

また、この装置は検査機能自体も充実しているため、鮮明なMRI画像をより短時間で撮影でき、検査時間も従来より短くなります。



導入したMRI装置



視聴できる映像例



～100人を超える企業関係者が参加～ 「臨床研究フィールドフェア」を初開催

平成29年4月19日、兵庫医科大学3-3講義室において、企業と医療現場を繋ぎ、本学から質の高い臨床研究を創出することを目的として、臨床研究支援センター主催「第1回臨床研究フィールドフェア」を開催しました。



臨床部門によるプレゼンテーション

当日は臨床5部門からのプレゼンテーションのほか、教員から発展性の高い研究シリーズの紹介を行い、診療の特徴や実績を披露。また、企業の立場から、塩野義製薬(株)ご担当者様より臨床研究支援センターが支援した多施設共同研究の事例についてご講演いただいたほか、事務局から平成26年8月発足後から現在までの臨床研究支援センターの変遷、状況についてのプレゼンテーションを行い、兵庫医科大学の研究組織・支援体制に対し理解が深まったという感想が多く寄せられました。



「臨床研究フィールドフェア」の開催は初めての試みであったにも関わらず、当日の参加者は、大手製薬企業を中心に49社129人にもものぼり、引き続き実施した情報交換会も含めて、大盛況のうちに幕を閉じました。



参加者で講義室は満員に



今後に繋げるための情報交換会

■4/1(土)

兵庫医科大学が、災害時などに大学・学生・保護者間で安否確認が迅速に行える「安否確認・連絡網システム」を導入しました。



■4/5(水)

ささやま医療センター 片山新病院長の就任記者会見を行い、地元の記者を前に就任の抱負などを述べました。



■4/12(水)

3月21日～29日に実施した北京中医药大学への短期留学の報告会を開催し、留学に参加した学生と引率教員が留学で得た知識や感想を発表しました。



■4/19(水)

兵庫医科大学病院で長時間ボランティアとしてご活躍いただいた方の功績を称えるべく、表彰式を開催。難波病院長から表彰状が授与されました。



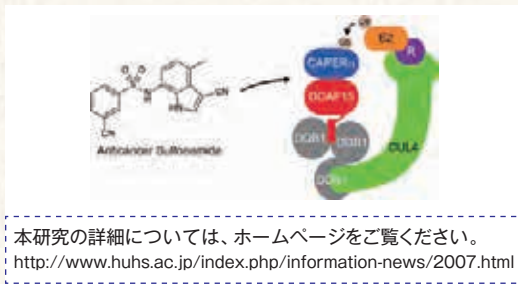


～遺伝子治療に代わる新たな抗がん剤創薬への第一歩～ 新規低分子化合物ががん増殖に係るタンパク質を分解・除去するメカニズムを解明

兵庫医療大学 薬学部の田中明人教授、馬淵美雪研究員らの研究グループは、エーザイ株式会社との共同研究により、エーザイが創出した生体内で安定かつ経口投与可能な新規低分子化合物が、がん増殖に係る特定のタンパク質を分解し、その量を減らすという新規メカニズムを有することを発見しました。

つまり、この低分子化合物は、生体内で不要となったタンパク質を分解除去するシステム(ユビキチン/プロテアソーム系)を利用して、がん細胞増殖およびがん周辺環境の維持に重要なタンパク質CAPER α を分解除去し、抗がん作用を発揮するというものです。

本研究成果は2017年4月25日(英国現地時間24日16:00)に、権威ある国際学術雑誌「Nature Chemical Biology」電子版に掲載されました。



～中国・雲南農業大学と長期的に研究協力を行うため～ 雲南省に「日中生物資源共同研究開発センター」を開設

兵庫医科大学は、中国・雲南省にある雲南農業大学と研究協力協定を締結し、同大学内に「日中生物資源共同研究開発センター」を開設しました。

兵庫医科大学と同大学は、2011年よりプーアル茶の生体調節機能の効果およびその機序における共同研究を実施し、筋萎縮性側索硬化症(ALS)発病、潰瘍性大腸炎やメタボリックシンドロームの改善などに関する数多くの研究成果を出しています。これを受け、長期的に友好的な協力を行う目的で、センターを開設することになりました。



野口学長(左)と雲南農業大学 盛学長(右)



雲南農業大学

《名 称》	日中生物資源共同研究開発センター
《設置場所》	雲南農業大学(中華人民共和国、雲南省昆明市)
《開設 日》	2017年5月14日
《センターにおける研究内容》	(1) プーアル茶、紅茶、緑茶の生体調節機能についての研究 (2) カフェイン、ポリフェノール、テアニンやテアフラビンなどを含む茶の機能性成分についての研究 (3) 雲南地方の生物多様性を有効に利用し、新機能食品や医薬品の開発を推進する。
《その他協定事項》	・センター長は、両大学の学長とする。 ・雲南省高原特色農業産業研究院が協力機関として参加する。 ・研究センターは人材育成制度を設け、毎年両大学の研究者が定期的に訪問し、交流を行う。 また、両大学の優秀な学生もセンターにて共同で育成する。



～兵庫医療大学10周年のお祝いとして～ 丹波市山南町より橘を寄贈いただきました

兵庫医療大学の開学10周年の祝賀として、丹波市山南町和田地区より橘(ミカン科タチバナ)を寄贈していただきました。同地区と兵庫医療大学 薬学部は、薬草薬樹の価値向上や普及に向けたプロジェクトをともに展開してきた関係があります。平成29年5月12日に執り行った植樹式にも、ふるさと和田振興会の武田久平会長や兵庫医療大学の馬場明道学長らが出席し、プロジェクトの今後さらなる発展を誓いました。



■4/24(月)

平成29年度兵庫医療大学入学生特別奨学金の奨学生4人に対して、馬場学長から奨学生証と記念品が授与されました。



■4/25(火)

多職種横断企画「イノベーション活動プロジェクト“結い”」の中間報告会を実施。6月の最終報告に向け、各チーム、ラストスパートをかけています。



～5月12日は「看護の日」～ 看護部主催で“パネル展示”と“健康促進イベント”を実施

「看護の日」(5月12日)にちなんだ活動として、兵庫医科大学病院では、看護部によるパネル展示「私たちの“きらり”看護」(平成29年5月8日～29日)と、「一日まちの保健室」(平成29年5月27日)を実施しました。

「私たちの“きらり”看護」では、患者さんをはじめ、そのご家族や地域の皆さん、日々共に働く病院職員に向けて、約1,000人の看護師たちの想いを写真やメッセージで展示。多くの方がパネルの前で足を止めてご覧になっていました。

地域住民の方を対象に、生活習慣病予防啓発の無料イベントとして、今年も「一日まちの保健室」を開催しました。骨密度測定や乳がん触診体験、禁煙相談など6つの体験ブースを設置。昨年度大盛況であったことを受け、今年度は病院休診日である第4土曜日に開催しました。参加いただいた111人の皆さんには、それぞれのブースでゆっくりと体験していただくことができ、好評を得ることができました。



渡り廊下に展示した、私たちの“きらり”看護ポスター



地域の方にお越しいただいた「一日まちの保健室」



好評であった「禁煙指導」



薬学部と病院薬剤部による 高校生対象イベントを開催

平成29年6月4日に、兵庫医療大学 薬学部と兵庫医科大学病院 薬剤部との合同イベント「薬剤師への道」を開催しました。本イベントは「大学病院で職業について知り、大学で学びを体験する」をテーマに、薬学部への進学に興味を持つ高校生を対象として毎年実施しています。今年参加した37人は、大学病院の薬剤部見学や薬学部での実習体験をとおり、薬剤師への理解を深めました。



看護職への理解を深める 進学イベントを実施

平成29年6月11日、“看護職の仕事と学びを知る”をテーマにした高校生対象イベント「看護職への道」を開催しました。

本イベントでは、兵庫医療大学 看護学部教員の講義をはじめ、在学生による学び紹介や、兵庫医科大学病院の紹介、卒業生の看護師・保健師・助産師によるパネルトーク等を実施。高校生175人と多くの保護者にご参加いただき、全プログラムを通じて好評を得ることができました。



■5/20(土)

弁護士の小西華子先生による「ハラスメント防止に係る特別講義」が行われ、兵庫医科大学の1～4年次生約460人が出席しました。



■5/20(土)

「第1回漢方医学研究会」を行いました。前半は日本の漢方導入の歴史について講演を行い、後半は漢方医学関係者16人で討論を行いました。





～中医薬孔子学院 設立5周年を祝って～

「第5回学術シンポジウム・

兵庫医療大学薬学部東洋医薬部門 第2回国際シンポジウム」を開催

平成29年6月15日、兵庫医療大学オクタホールにて、中医薬孔子学院「第5回学術シンポジウム」を開催しました。今年度は、学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院設立5周年にあたるため、これを記念したイベントとして開催し、教職員、兵庫医療大学薬学部の学生、一般の聴講者の方を含め、約400人が参加しました。

シンポジウムの第一部は、徐 安龍学長（北京中医薬大学）並びに三輪 洋人学院長（中医薬孔子学院）が「東西医学の融合」をテーマに基調講演を行い、第二部は、王 頤教授（北京中医薬大学付属東直門病院）、李 軍祥教授（北京中医薬大学付属東方病院）、および兵庫医科大学の増山 理主任教授（循環器内科）、大島 忠之准教授（消化管科）をシンポジストとして、「中医薬（漢方）をどう使うか？－日本と中国の相違－」をテーマにシンポジウムを行い、参加者は熱心に耳を傾けました。

中医薬孔子学院では、これまで様々な事業を通じて、中医薬の教育・研究活動を行ってききましたが、これからの発展に大きな期待を抱くことのできる内容となりました。



開催案内



第一部の講演



第二部のシンポジウム



記念祝賀会



「後援会総会」「医学教育等説明会・懇談会」を実施しました

平成29年6月17日、3-1講義室にて「後援会総会」「医学教育等説明会・懇談会」を開催し、多数の保護者の皆様にお集まりいただきました。

総会では、後援会の今年度の活動予定などについて清水後援会長よりご説明がありました。続いて、医学教育等説明会・懇談会では、兵庫医科大学 客員教授の塩澤昌英先生より「第111回国家試験の傾向と今後の対策及び日頃の学習の仕方などについて」と題したビデオ講演と、島学生部長による「実態調査からみる最近の学生生活の傾向と課題」の講演があり、ご子弟の学生生活や今後の学習に参考となる話が聞かれました。その後、懇親会を開催し、保護者の皆様と役員・教員が交流しました。



～記念式典、講演会や祝賀会を企画～

兵庫医療大学開学10周年記念プロジェクト、着々と進行中

兵庫医療大学は平成19年に神戸・ポートアイランドの地に開学し、今年で開学10周年を迎えました。これを記念し、来たる9月30日に兵庫医療大学のキャンパスにて講演会・記念式典・祝賀会を開催することが決定しました。

この式典に向けて、記念誌およびスペシャルムービーの企画制作を、現在検討しています。記念誌では10年の各年における象徴的な事象と特別メッセージ、そして次の10年へ向けたビジョンを紹介。スペシャルムービーでは現在の大学・学生の様子や美しいキャンパスを、最先端の映像技術を使って映し出す予定です。

兵庫医療大学の10年のあゆみを卒業生、在学生、教職員、そして関係するすべての方々と一緒に振り返り、懐かしむことのできる内容にするよう鋭意企画中です。ぜひご期待ください。

平成29年9月30日

「兵庫医療大学

開学10周年記念式典」

をキャンパスにて挙行！



～10年後の完成に向けて～

「新病院棟建設プロジェクト」
基本構想の策定開始！

病院施設の老朽化による診療機能の低下や将来の先端医療に対する拡張性、臨床教育の充実を図るため、平成35年度着工、平成37年度竣工予定で新病院棟を建設することが決まりました。

今年度は「新病院棟建設プロジェクト」の1年目として、新病院棟建設計画にかかる基本構想の策定を行います。基本構想とは、新病院の将来像（施設の役割・機能、病床規模、診療機能、配置計画等）、概算事業費、整備手法、整備スケジュール等に関することです。この策定のため、西宮キャンパスグランドデザイン懇談会の下に阪上理事（新病院棟の企画担当）を責任者とする新病院構想ワーキンググループを設置し、平成29年4月から医療コンサルタント会社と協力して基本構想の策定をスタートさせました。



～本法人の目指す姿が決定～

第3次中期事業計画の策定
スタート

平成29年5月9日開催の経営常務会において、第3次中期事業計画の策定方針が承認されました。第3次中期事業計画は本法人が有している特徴や課題等を踏まえて、2018年（平成30年）～2022年（平成34年）の5年間に重点的に取り組む計画であり、第3次中期事業計画の本法人の目指す姿は、「21世紀に即した医学・医療の持続的な展開と、それらを担い上げる高質の医療人の育成を使命とする医療総合大学」に決まりました。

平成29年5月から法人部会（部会長：西岡常務理事）、医科大学部会（部会長：野口学長）、医療大学部会（部会長：馬場学長）、大学病院部会（部会長：難波病院長）、篠山キャンパス部会（部会長：太城副理事長）の5つの部会で、施策の策定が本格的にスタートしています。

■5/20(土)

「第2回ママさんパパさん交流会」を兵庫医科大学にて開催。妊娠・育児中の教職員とその配偶者や参加を希望する教職員等35人が参加しました。



■5/20(土)

兵庫医科大学 解剖学講座の教員をはじめ教職員15人が参列し、神戸市東灘区の住吉霊園にて、「平成29年度篤志解剖体納骨式」を執り行いました。



■5/31(水)

兵庫医科大学病院における各部署の功績を称えるべく、「平成28年度インセンティブ表彰」を行い、表彰者にインセンティブが授与されました。



■6/1(木)

ささやま医療センターにて「さなぶり演芸会」を開催。保育園児によるダンスや、邦楽グループ「いとたけ」による和楽器の合奏で、患者さんが笑顔になりました。

